

西東京市高齢者保健福祉計画策定及び介護保険事業計画策定のための アンケート調査結果(速報版)要約

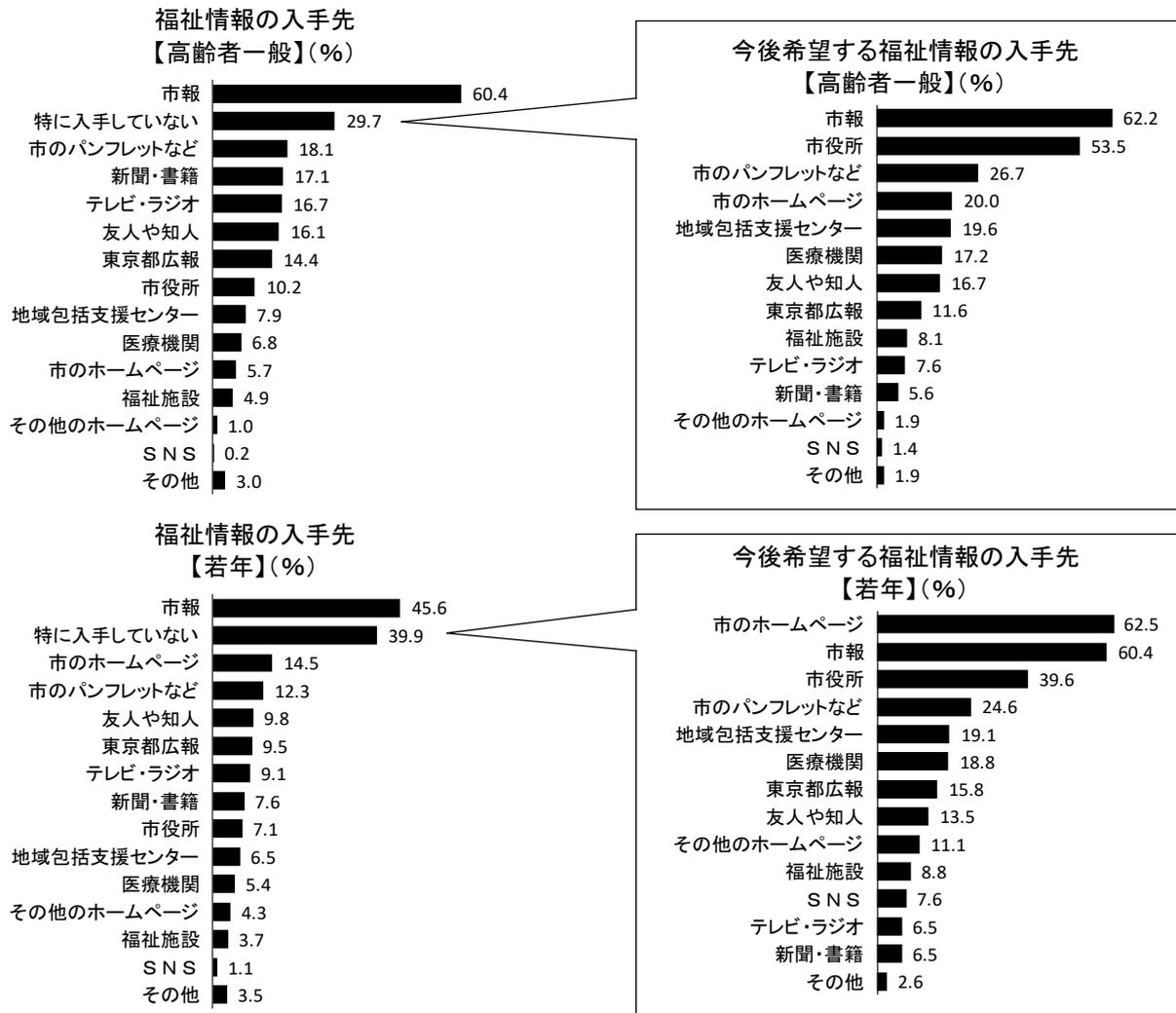
[1] 市民、利用者からの意見として以下の調査から要約 (【】内は調査名の略称)

・01 高齢者一般調査	【高齢者一般】	(有効回収数 1,738)
・02 若年者調査	【若年】	(有効回収数 855)
・03 介護保険在宅サービス利用者調査	【在宅】	(有効回収数 529)
・04 介護保険施設・居住系サービス利用者調査	【施設・居住系】	(有効回収数 166)
・05 介護保険サービス未利用者調査	【未利用者】	(有効回収数 172)
・08 在宅医療と介護に関する調査	【医療と介護】	(有効回収数 148)
・09 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	【ニーズ調査】	(有効回収数 1,764)

日ごろの生活について

<福祉情報の入手先>

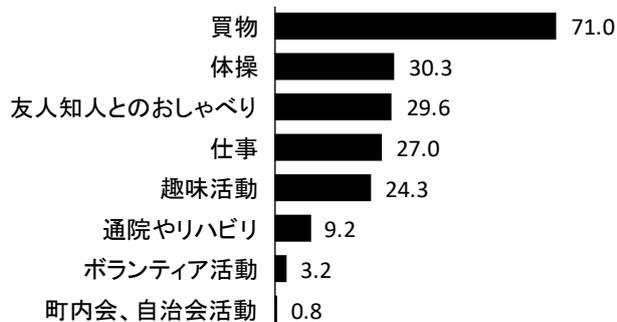
- ・【高齢者一般 問7 (複数回答)】「市報」が60.4%、「特に入手していない」が29.7%。「特に入手していない」人が今後希望する情報の入手先は「市報」62.2%や「市役所」53.5%。
- ・【若年 問7 (複数回答)】「市報」が45.6%、「特に入手していない」が39.9%。「特に入手していない」人が今後希望する情報の入手先は「市のホームページ」62.5%、「市報」60.4%、「市役所」39.6%。



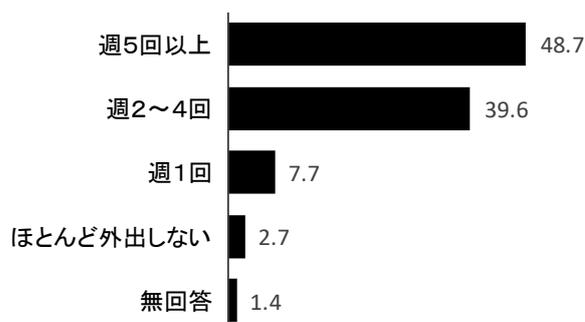
<外出について>

- ・【高齢者一般 問8】週2回以上外出する機会では「買物」71%が最も多く、次いで「体操」30.3%、「友人知人とのおしゃべり」29.6%、「仕事」27%、「趣味活動」24.3%。
- ・【ニーズ調査 問16】週1回以上外出しているかでは、「週5回以上」が48.7%、「週2～4回」39.6%、「週1回」7.7%、「ほとんど外出しない」2.7%。

外出の機会(週2回以上)
【高齢者一般】(%)



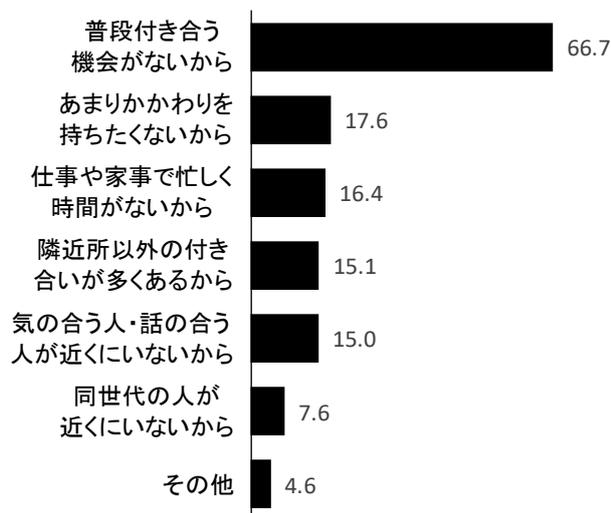
週1回以上外出しているか
【ニーズ調査】(%)



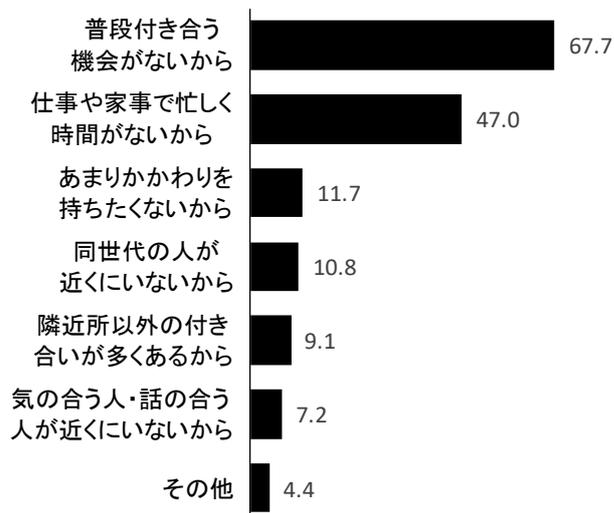
<隣近所との付き合いがない理由>

- ・【高齢者一般 問12 付問 (複数回答)】隣近所との付き合いがない理由は「普段付き合う機会がないから」が66.7%、「あまりかかわりを持ちたくないから」17.6%、「仕事や家事で忙しく時間がないから」16.4%。
- ・【若年 問8 付問 (複数回答)】隣近所との付き合いがない理由は「普段付き合う機会がないから」が67.7%、「仕事や家事で忙しく時間がないから」47%、「あまりかかわりを持ちたくないから」11.7%。

隣近所との付き合いがない理由
【高齢者一般】(%)

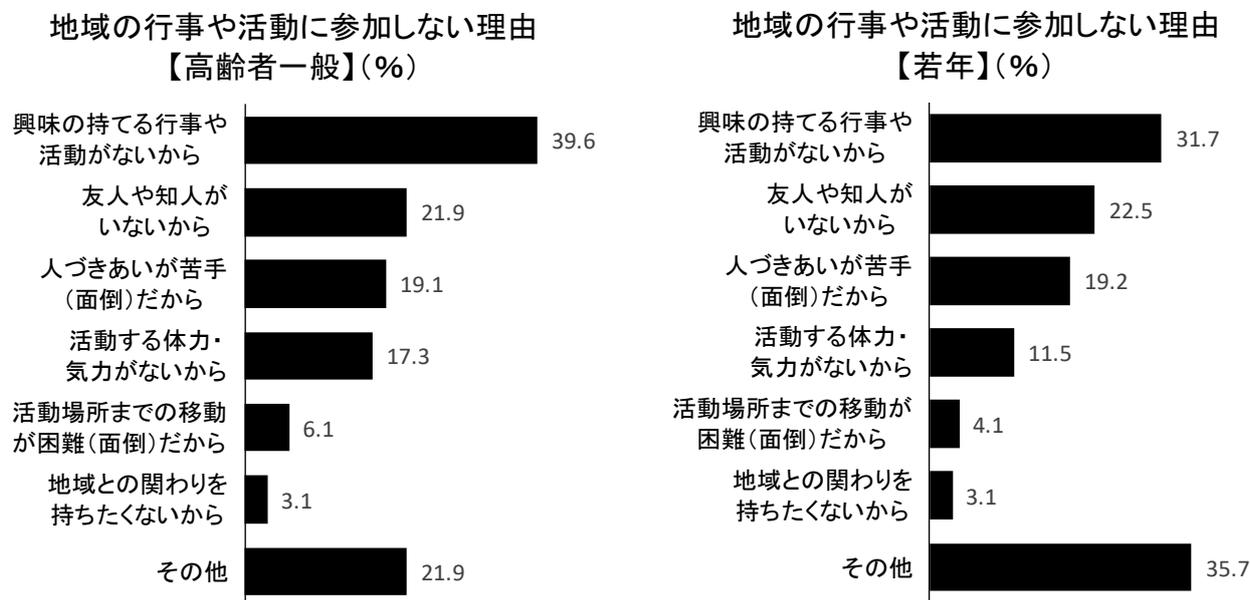


隣近所との付き合いがない理由
【若年】(%)



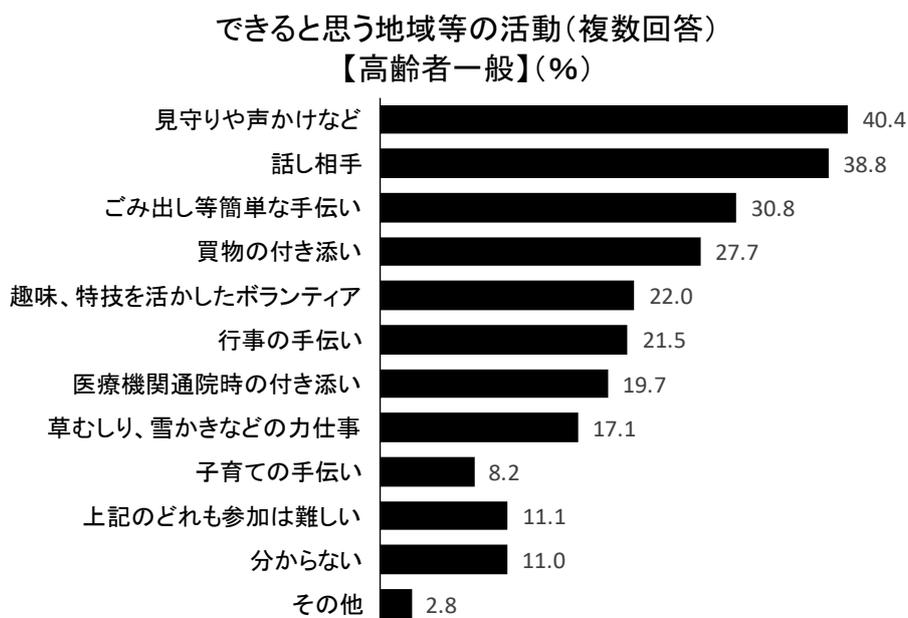
<地域の行事や活動へ参加しない理由>

- ・【高齢者一般 問13 付問（複数回答）】地域の行事や活動へ参加しない理由は「興味の手てる行事や活動がないから」が39.6%、「友人や知人がいないから」が21.9%、「人づきあいが苦手（面倒）だから」が19.1%。
- ・【若年 問9 付問（複数回答）】地域の行事や活動へ参加しない理由は「興味の手てる行事や活動がないから」が31.7%、「友人や知人がいないから」が22.5%、「人づきあいが苦手（面倒）だから」が19.2%。



<できると思う地域等の活動>

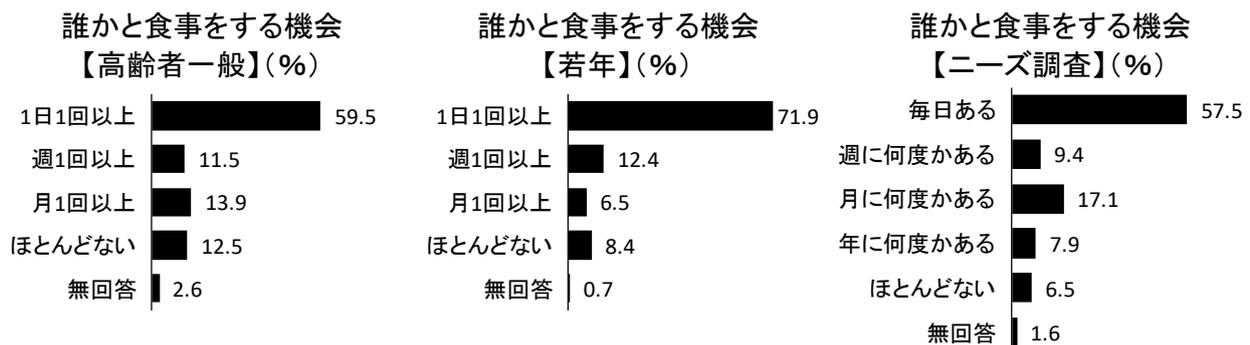
- ・【高齢者一般 問28（複数回答）】できると思う地域等の活動は「見守りや声かけなど」が40.4%、「話し相手」38.8%、「ごみ出し等簡単な手伝い」30.8%。



健康や医療の状況について

<誰かと食事をする機会>

- ・【高齢者一般 問 16】誰かと食事をする機会は「1日1回以上」が59.5%、「週1回以上」11.5%、「月1回以上」が13.9%、「ほとんどない」12.5%。
- ・【若年 問 12】誰かと食事をする機会は「1日1回以上」が71.9%、「週1回以上」12.4%、「月1回以上」が6.5%、「ほとんどない」8.4%。
- ・【ニーズ調査 問 27】誰かと食事をする機会は「毎日ある」が57.5%、「週に何度かある」9.4%、「月に何度かある」17.1%、「年に何度かある」7.9%、「ほとんどない」6.5%。



<健康についての記事や番組への関心>

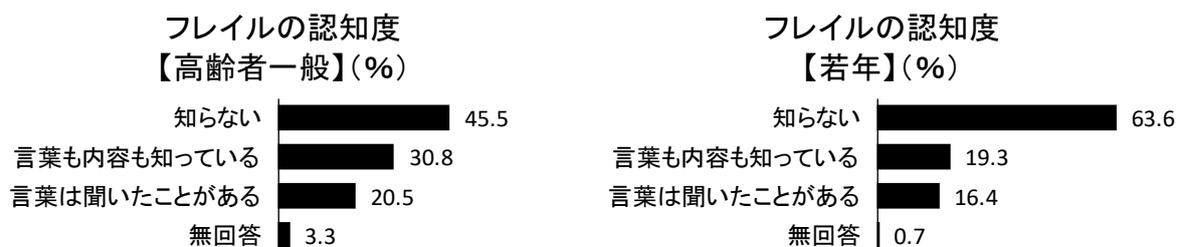
- ・【ニーズ調査 問 39】健康についての記事や番組に関心があるかは「はい（関心がある）」が90.8%、「いいえ（関心がない）」が8.2%。

健康についての記事や番組に関心があるか



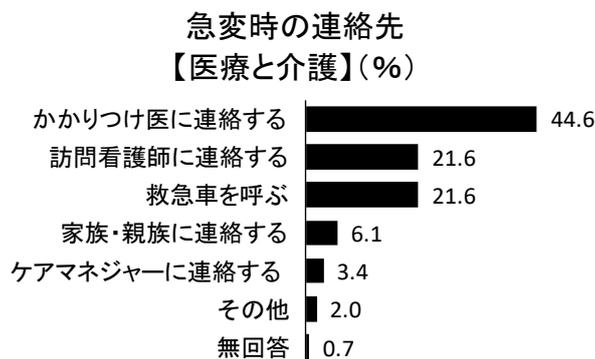
<フレイルの認知度>

- ・【高齢者一般 問 19】フレイルについて知っているかは「知らない」が45.5%、「言葉も内容も知っている」30.8%、「言葉は聞いたことがある」20.5%。
- ・【若年 問 14】フレイルについて知っているかは「知らない」63.6%、「言葉も内容も知っている」は19.3%、「言葉は聞いたことがある」16.4%。



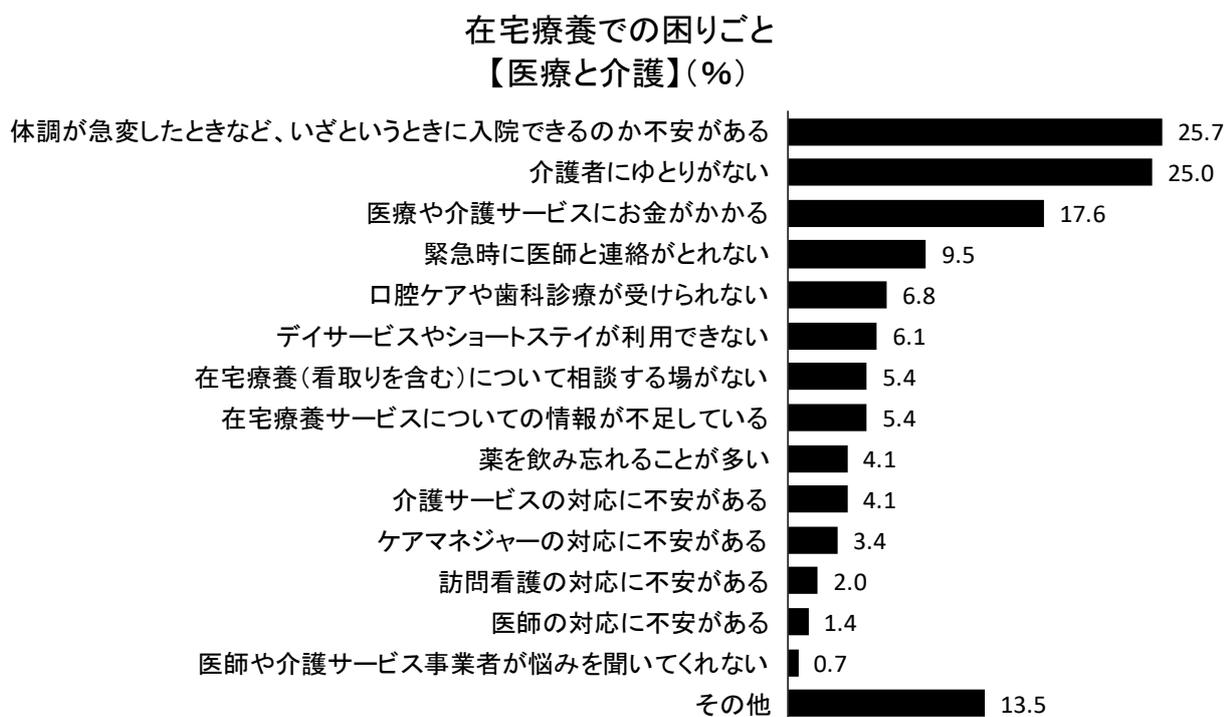
<急変時の連絡先>

- ・【医療と介護 問 15】急変時の連絡先は「かかりつけ医に連絡する」が 44.6%、「訪問看護師に連絡する」及び「救急車を呼ぶ」が 21.6%。



<在宅医療を送る上で困っていること>

- ・【医療と介護 問 16 (複数回答)】在宅医療を送る上で困っていることは「体調が急変したときなど、いざというときに入院できるのか不安がある」が 25.7%、「介護者にゆとりがない」25%、「医療や介護サービスにお金がかかる」17.6%、「緊急時に医師と連絡がとれない」9.5%。

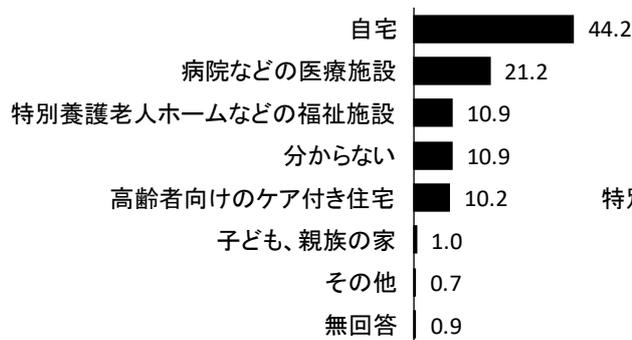


今後の暮らし方について

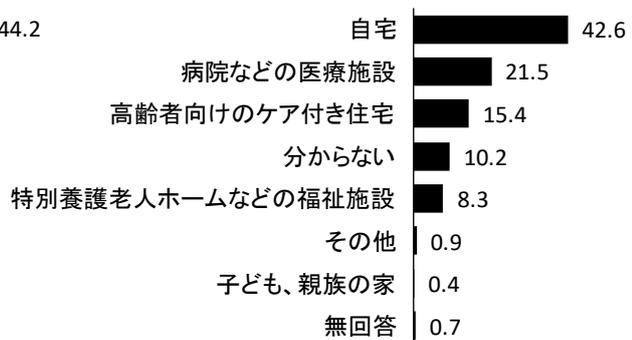
<長期療養を希望する場所>

- ・【高齢者一般 問 23】長期療養を希望する場所は「自宅」が 44.2%、「病院などの医療施設」21.2%、「特別養護老人ホームなどの福祉施設」及び「分からない」が 10.9%、「高齢者向けのケア付き住宅」10.2%。
- ・【若年 問 18】長期療養を希望する場所は「自宅」が 42.6%、「病院などの医療施設」21.5%、「高齢者向けのケア付き住宅」15.4%、「分からない」10.2%、「特別養護老人ホームなどの福祉施設」8.3%。
- ・【在宅 問 11】長期療養を希望する場所は「自宅」が 49.5%、「病院などの医療施設」16.8%、「特別養護老人ホームなどの福祉施設」14.9%、「分からない」8.5%、「高齢者向けのケア付き住宅」7%。
- ・【未利用者 問 13】長期療養を希望する場所は「自宅」が 73.8%、「分からない」7.6%、「特別養護老人ホームなどの福祉施設」7%、「高齢者向けのケア付き住宅」及び「病院などの医療施設」が 2.9%。
- ・【医療と介護 問 25】長期療養を希望する場所は「自宅」が 81.1%、「分からない」7.4%、「特別養護老人ホームなどの福祉施設」3.4%、「子ども、親族の家」及び「病院などの医療施設」が 2.7%。

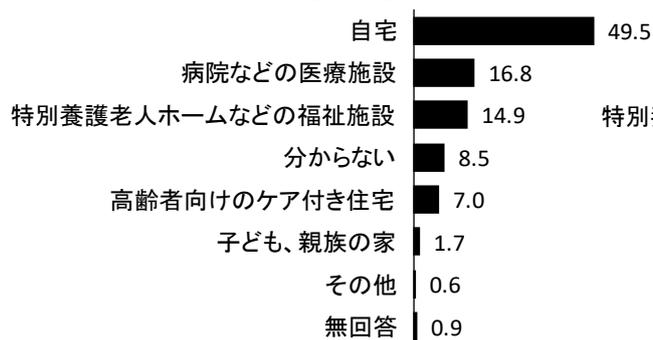
長期療養を希望する場所
【高齢者一般】(%)



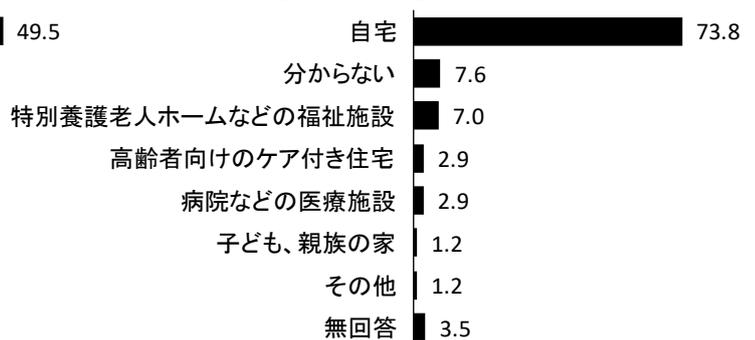
長期療養を希望する場所
【若年】(%)



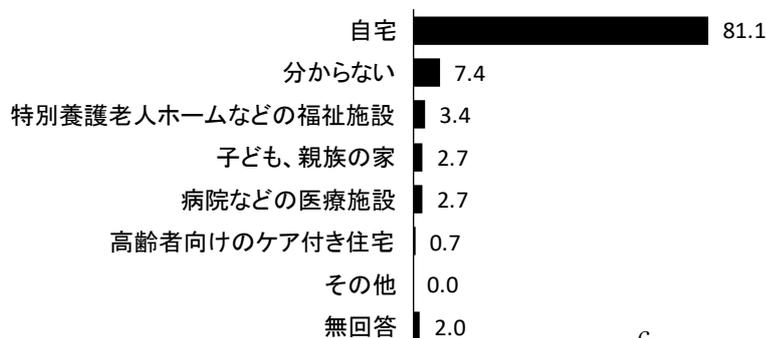
長期療養を希望する場所
【在宅】(%)



長期療養を希望する場所
【未利用者】(%)



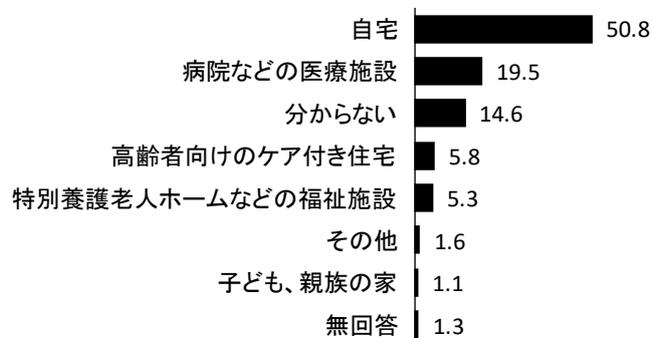
長期療養を希望する場所
【医療と介護】(%)



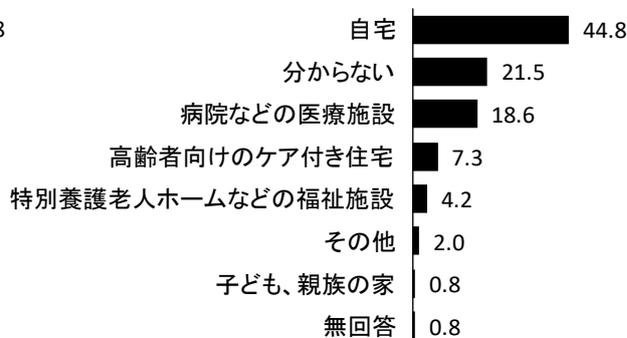
<人生の最期を迎えたい場所>

- ・【高齢者一般 問24】人生の最期を迎えたい場所は「自宅」が50.8%、「病院などの医療施設」19.5%、「分からない」が14.6%。
- ・【若年 問19】人生の最期を迎えたい場所は「自宅」が44.8%、「分からない」が21.5%、「病院などの医療施設」18.6%。
- ・【在宅 問12】人生の最期を迎えたい場所は「自宅」が55.2%、「病院などの医療施設」17%、「分からない」が11.9%。
- ・【未利用者 問14】人生の最期を迎えたい場所は「自宅」が53.5%、「病院などの医療施設」22.1%、「分からない」が13.4%。
- ・【医療と介護 問26】人生の最期を迎えたい場所は「自宅」が59.5%、「分からない」が20.9%、「病院などの医療施設」12.2%。

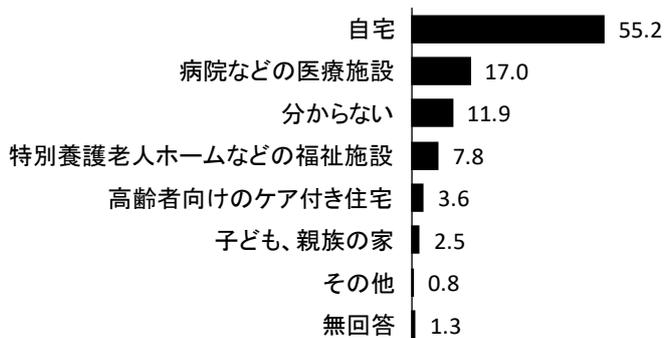
人生の最期を迎えたい場所
【高齢者一般】(%)



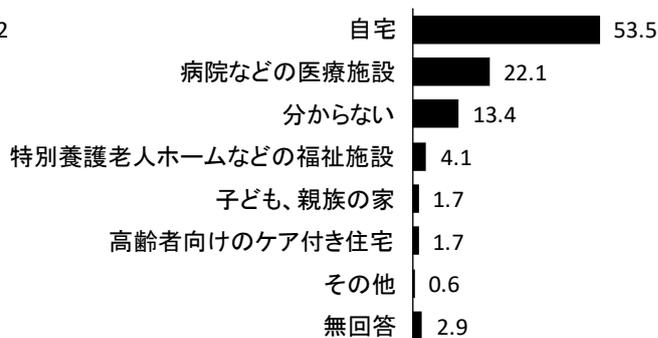
人生の最期を迎えたい場所
【若年】(%)



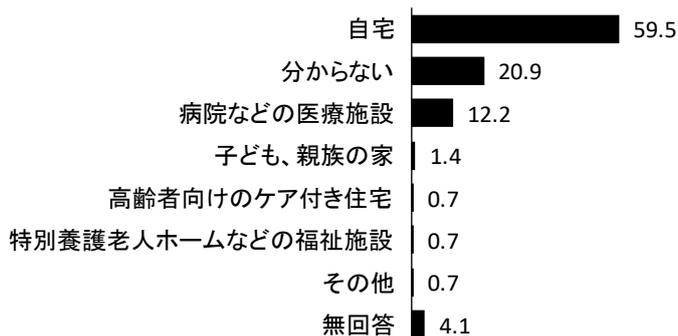
人生の最期を迎えたい場所
【在宅】(%)



人生の最期を迎えたい場所
【未利用者】(%)



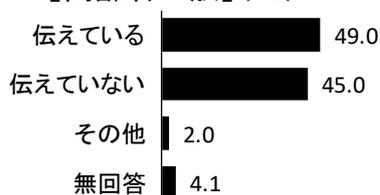
人生の最期を迎えたい場所
【医療と介護】(%)



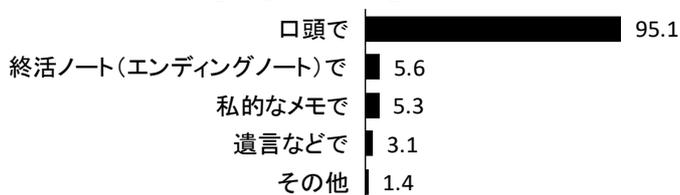
<今後の希望を家族に伝えているか>

- ・【高齢者一般 問 26】 延命治療などについて今後の希望を家族に伝えているかは「伝えている」が49%、「伝えていない」が45%。伝え方（複数回答）は「口頭」が65.1%、「終活ノート」5.6%、「私的なメモ」5.3%。
- ・【若年 問 21】 延命治療などについて今後の希望を家族に伝えているかは「伝えている」が39.5%、「伝えていない」が57.2%。伝え方（複数回答）は「口頭」が97.3%、「私的なメモ」3%、「終活ノート」2.1%。
- ・【在宅 問 14】 延命治療などについて今後の希望を家族に伝えているかは「伝えている」が58.8%、「伝えていない」が33.3%。伝え方（複数回答）は「口頭」が89.1%、「私的なメモ」6.8%、「終活ノート」4.2%。
- ・【未利用者 問 16】 今後の希望を家族に伝えているかは「伝えている」が51.2%、「伝えていない」が41.9%。伝え方（複数回答）は「口頭」が88.6%、「私的なメモ」及び「終活ノート」が9.1%。
- ・【医療と介護 問 28】 今後の希望を家族に伝えているかは「伝えている」が60.1%、「伝えていない」が29.1%。伝え方（複数回答）は「口頭」が88.8%、「終活ノート」5.6%、「私的なメモ」3.4%。

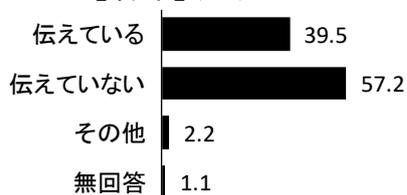
今後の希望を家族に伝えているか
【高齢者一般】(%)



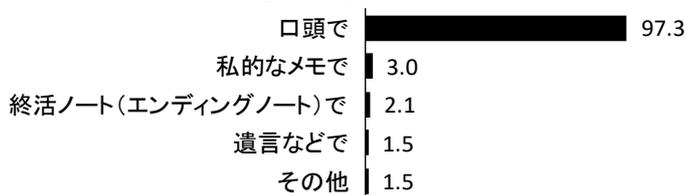
家族への伝え方
【高齢者一般】(%)



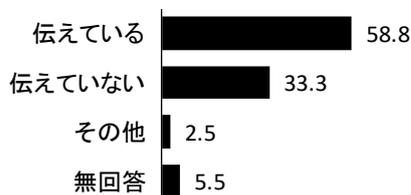
今後の希望を家族に伝えているか
【若年】(%)



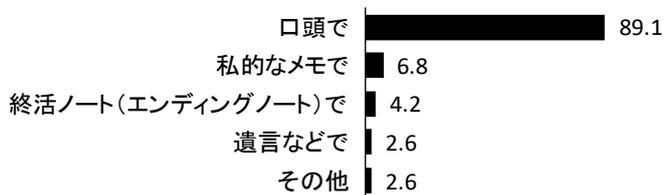
家族への伝え方
【若年】(%)



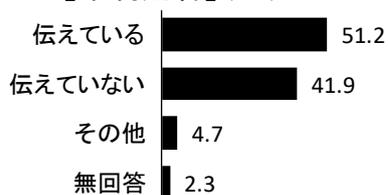
今後の希望を家族に伝えているか
【在宅】(%)



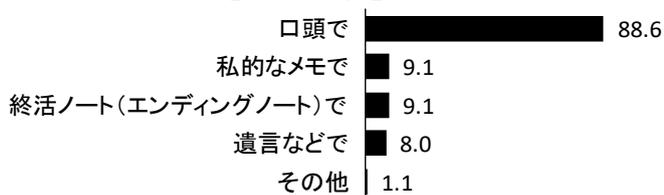
家族への伝え方
【在宅】(%)



今後の希望を家族に伝えているか
【未利用者】(%)



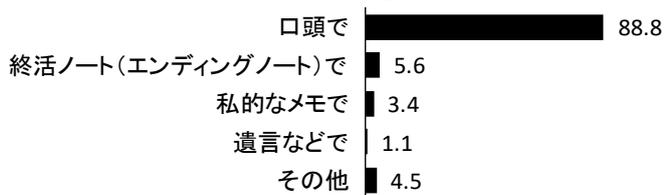
家族への伝え方
【未利用者】(%)



今後の希望を家族に伝えているか
【医療と介護】(%)



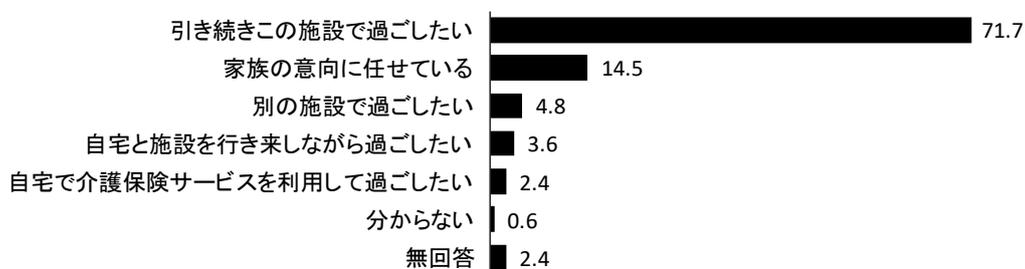
家族への伝え方
【医療と介護】(%)



<施設入所者: 今後希望する過ごし方>

- ・【施設・居住系 問8】施設入所者が今後希望する過ごし方は「引き続きこの施設で過ごしたい」が71.7%、「家族の意向に任せている」14.5%、「別の施設で過ごしたい」4.8%、「自宅と施設を行き来しながら過ごしたい」3.6%、「自宅で介護保険サービスを利用して過ごしたい」2.4%。

今後希望する過ごし方
【施設・居住系】(%)

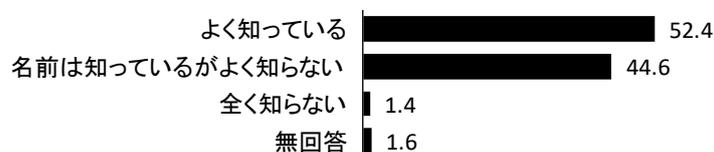


認知症について

<若年性認知症の認知度>

- ・【若年 問22】若年性認知症を知っているかは「よく知っている」が52.4%、「名前は知っているがよく知らない」44.6%、「全く知らない」1.4%。

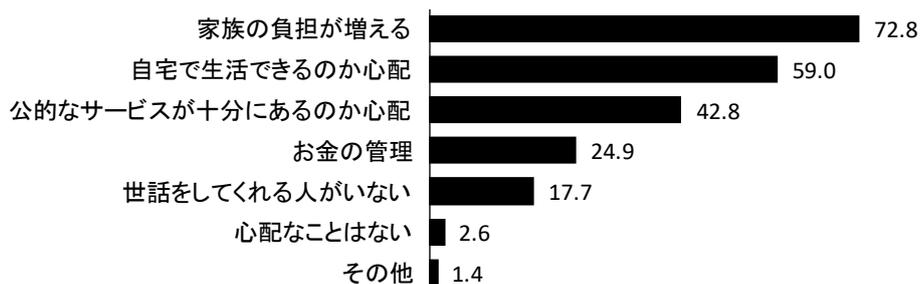
若年性認知症の認知度
【若年】(%)



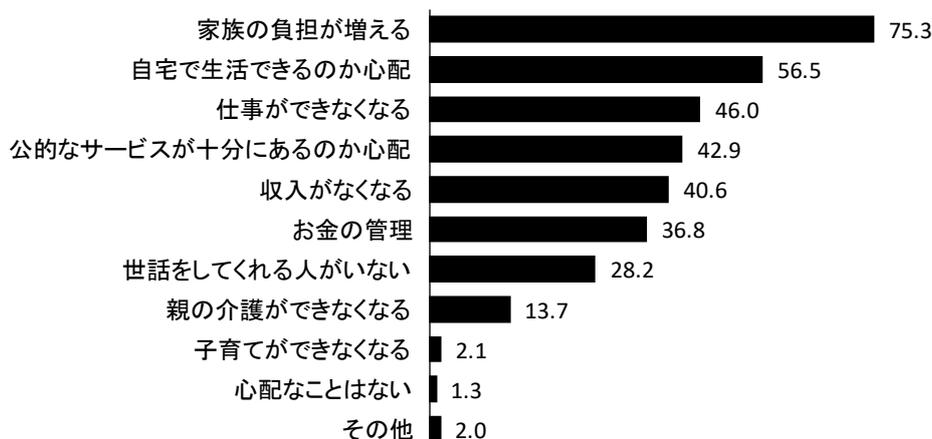
<認知症で心配なこと>

- ・【高齢者一般 問 29 (複数回答)】認知症で心配なことは「家族の負担が増える」が 72.8%、「自宅で生活できるのか心配」59%、「公的なサービスが十分にあるのか心配」42.8%。
- ・【若年 問 24 (複数回答)】認知症で心配なことは「家族の負担が増える」が 75.3%、「自宅で生活できるのか心配」56.5%、「仕事ができなくなる」46%、「公的なサービスが十分にあるのか心配」42.9%。
- ・【在宅 問 27 (複数回答)】認知症で心配なことは「家族の負担が増える」が 64.3%、「自宅で生活できるのか心配」52%、「公的なサービスが十分にあるのか心配」34%。

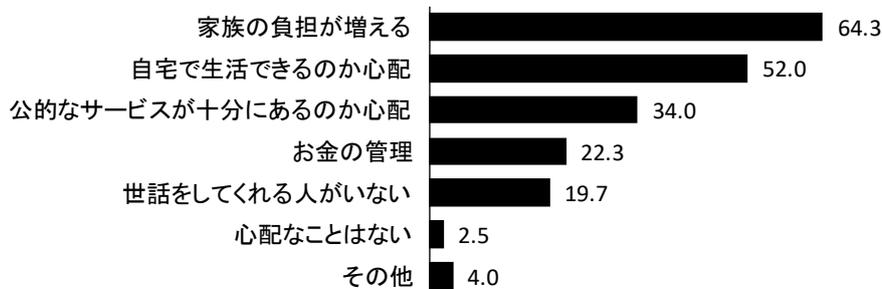
認知症で心配なこと 【高齢者一般】(%)



認知症で心配なこと 【若年】(%)

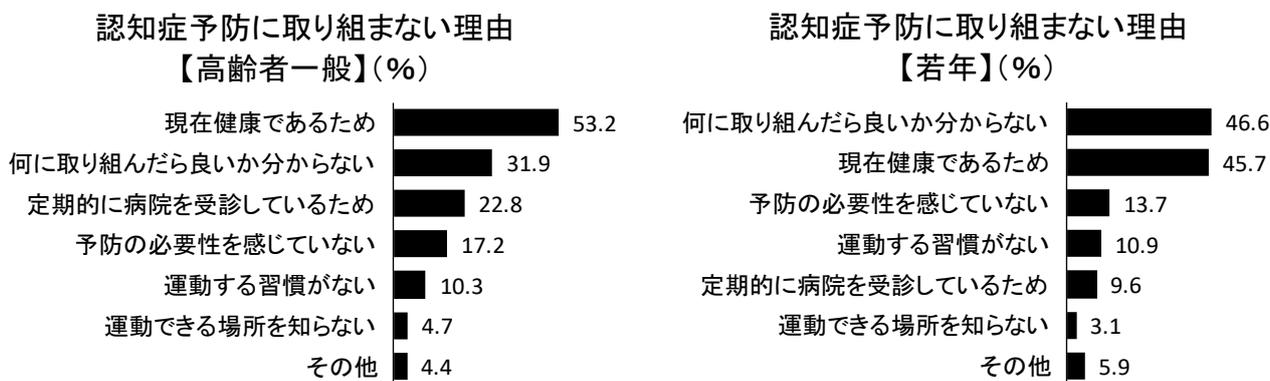


認知症で心配なこと 【在宅】(%)



<認知症予防に取り組まない理由>

- ・【高齢者一般 問 30 付問 (複数回答)】認知症予防に取り組まない理由は「現在健康であるため」が 53.2%、「何に取り組んだら良いか分からない」31.9%、「定期的に病院を受診しているため」22.8%、「予防の必要性を感じていない」17.2%。
- ・【若年 問 25 付問 (複数回答)】認知症予防に取り組まない理由は「何に取り組んだら良いか分からない」が 46.6%、「現在健康であるため」45.7%、「予防の必要性を感じていない」13.7%、「運動する習慣がない」10.9%。



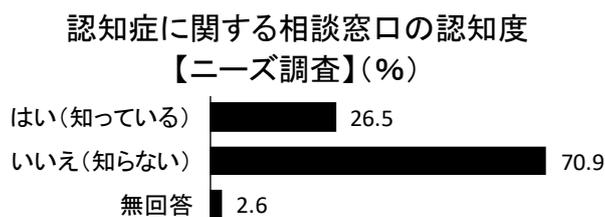
<認知症サポーターの認知度>

- ・【高齢者一般 問 31】認知症サポーターを知っているかは「全く知らない」が 56.1%、「名前は知っているがよく知らない」が 29.8%、「よく知っている」が 9.8%。
- ・【若年 問 26】認知症サポーターを知っているかは「全く知らない」が 65.5%、「名前は知っているがよく知らない」が 21.5%、「よく知っている」が 11.7%。



<認知症に関する相談窓口の認知度>

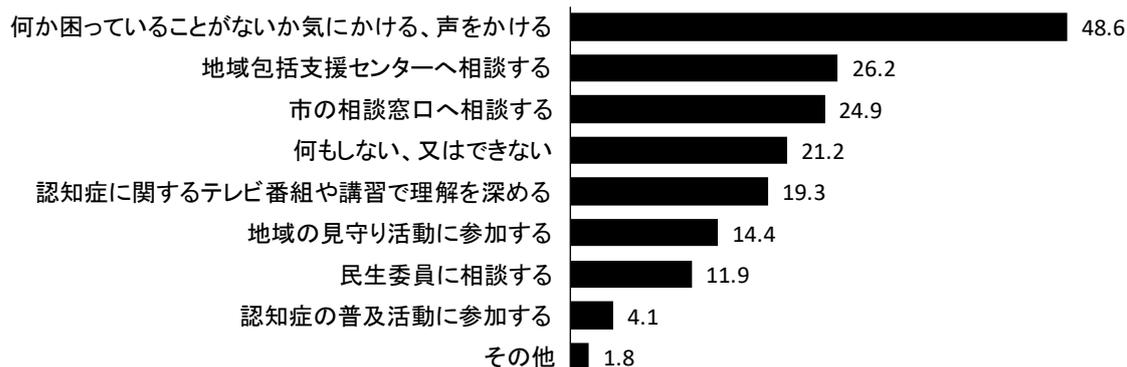
- ・【ニーズ調査 問 66】認知症に関する相談窓口を知っているかは「はい (知っている)」が 26.5%、「いいえ (知らない)」が 70.9%。



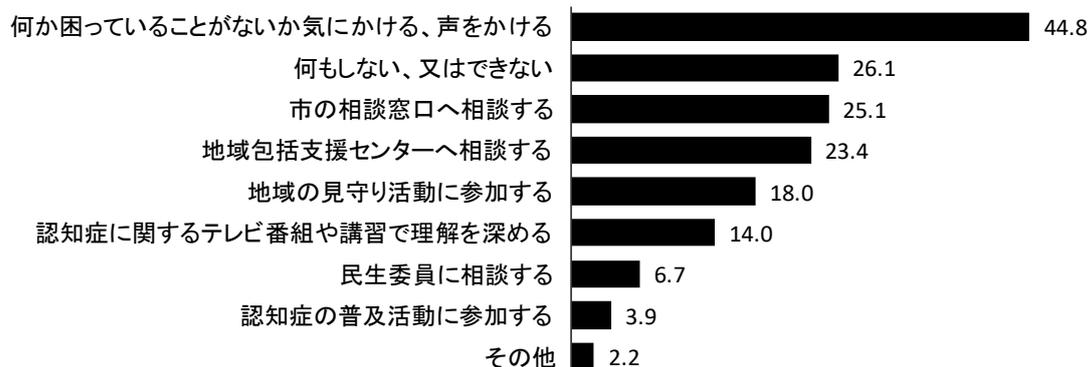
<認知症の人へ地域でできること>

- ・【高齢者一般 問 32 (複数回答)】 認知症の人へ地域でできることは「何か困っていることがないか気にかける、声をかける」が 48.6%、「地域包括支援センターへ相談する」26.2%、「市の相談窓口へ相談する」24.9%、「何もしない、又はできない」21.2%。
- ・【若年 問 27 (複数回答)】 認知症の人へ地域でできることは「何か困っていることがないか気にかける、声をかける」が44.8%、「何もしない、又はできない」26.1%、「市の相談窓口へ相談する」25.1%、「地域包括支援センターへ相談する」23.4%。

認知症の人へ地域でできること
【高齢者一般】(%)



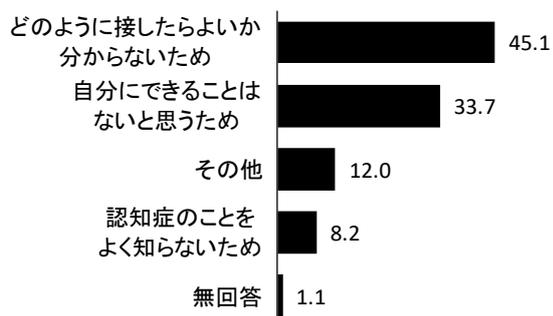
認知症の人へ地域でできること
【若年】(%)



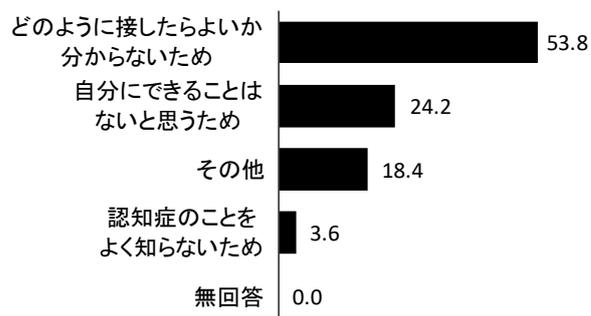
<認知症の人へ「何もしない、又はできない」理由>

- ・【高齢者一般 問 32 付問 (複数回答)】 認知症の人へ「何もしない、又はできない」理由は「どのように接したらよいか分からないため」45.1%、「自分にできることはないと思うため」33.7%。
- ・【若年 問 27 付問 (複数回答)】 認知症の人へ「何もしない、又はできない」理由は「どのように接したらよいか分からないため」53.8%、「自分にできることはないと思うため」24.2%。

認知症の人へ「何もしない、又はできない」理由
【高齢者一般】(%)



認知症の人へ「何もしない、又はできない」理由
【若年】(%)



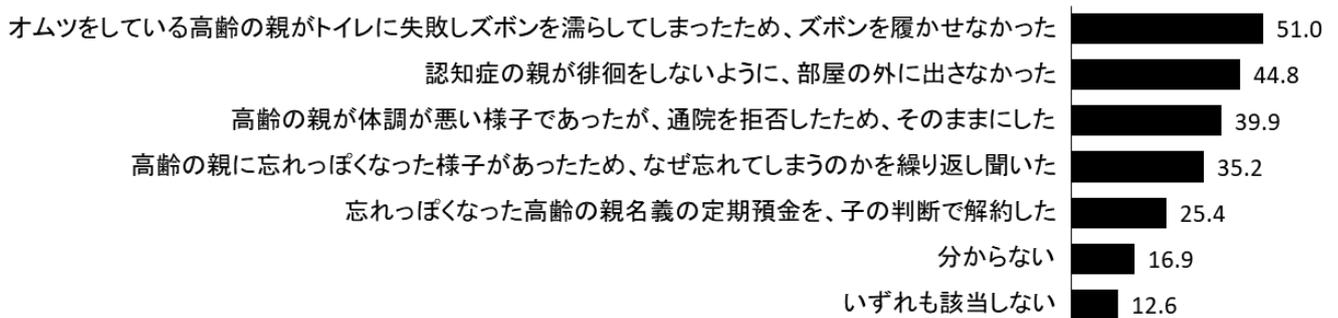
高齢者虐待について

<高齢者虐待と思われること>

- ・【高齢者一般 問 33 (複数回答)】 高齢者虐待と思われることは「オムツをしている高齢の親がトイレに失敗しズボンを濡らしてしまったため、ズボンを履かせなかった」が 51%、「認知症の親が徘徊をしないように、部屋の外に出さなかった」 44.8%、「高齢の親が体調が悪い様子であったが、通院を拒否したため、そのままにした」 39.9%。
- ・【若年 問 29 (複数回答)】 高齢者虐待と思われることは「オムツをしている高齢の親がトイレに失敗しズボンを濡らしてしまったため、ズボンを履かせなかった」が 67.7%、「高齢の親が体調が悪い様子であったが、通院を拒否したため、そのままにした」 53.2%、「認知症の親が徘徊をしないように、部屋の外に出さなかった」 52.5%。
- ・【施設・居住系 問 18 (複数回答)】 高齢者虐待を受けたり発見したことがあるかは「分からない」が 46.4%、「暴言や無視などで心理的な傷を与えること」 4.2%、「身体を傷つけるような暴力を振るうこと」 1.2%。

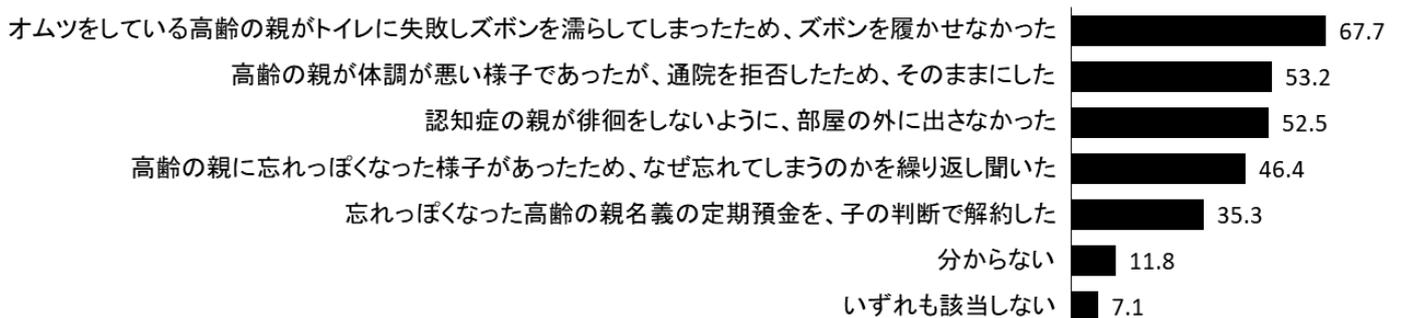
高齢者虐待と思われること

【高齢者一般】(%)



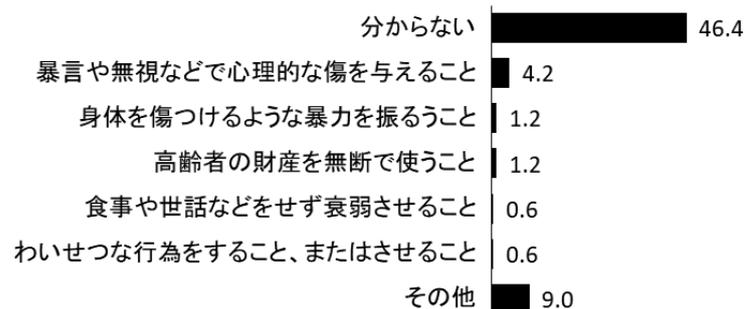
高齢者虐待と思われること

【若年】(%)



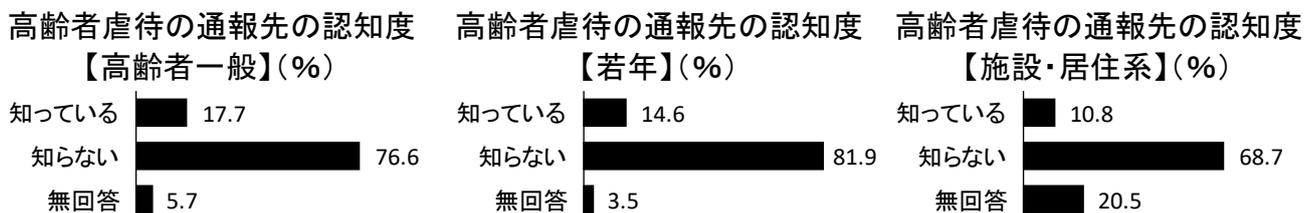
高齢者虐待の経験

【施設・居住系】(%)



<高齢者虐待の通報先の認知度>

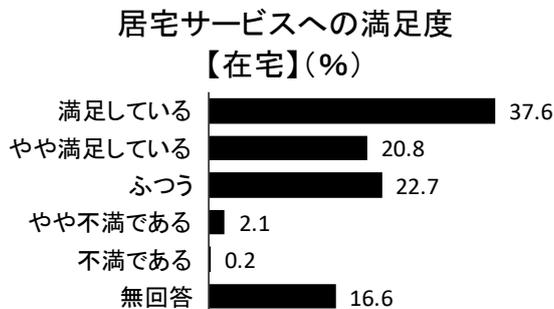
- ・【高齢者一般 問 34】 高齢者虐待の通報先を「知っている」が17.7%、「知らない」が76.6%。
- ・【若年 問 30】 高齢者虐待の通報先を「知っている」が14.6%、「知らない」が81.9%。
- ・【施設・居住系 問 19】 高齢者虐待の通報先を「知っている」が10.8%、「知らない」が68.7%。



介護保険制度について

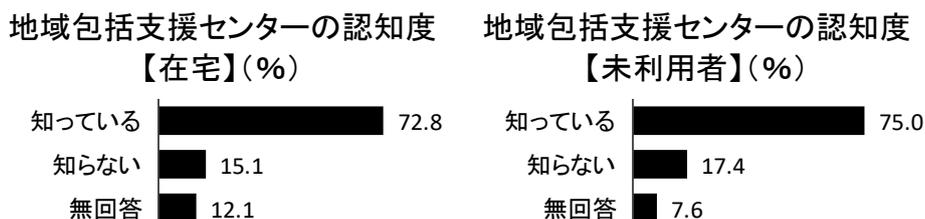
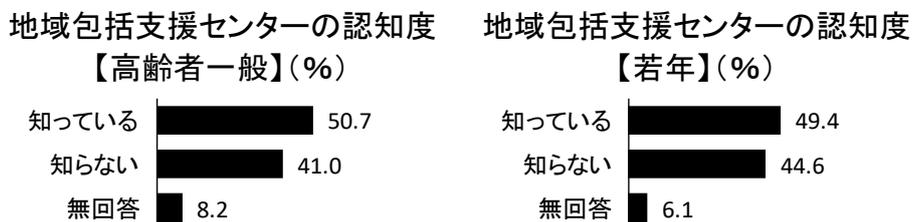
<居宅サービスへの満足度>

- ・【在宅 問 21】 居宅サービスへの満足度は「満足している」が37.6%、「やや満足している」20.8%、「ふつう」22.7%。



<地域包括支援センターの認知度>

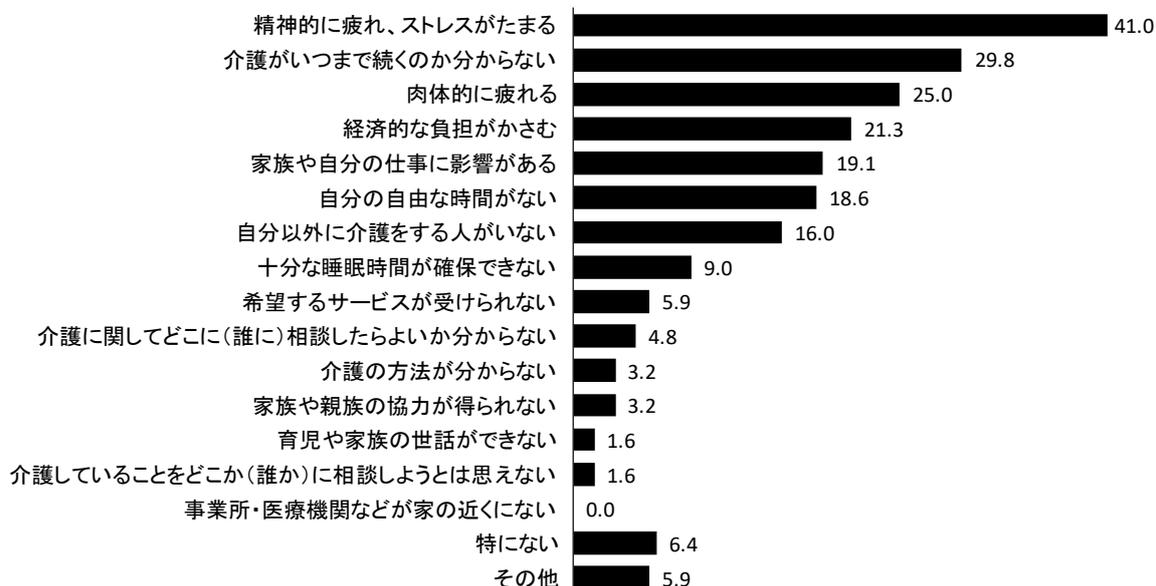
- ・【高齢者一般 問 35】 地域包括支援センターを「知っている」が50.7%、「知らない」が41%。
- ・【若年 問 31】 地域包括支援センターを「知っている」が49.4%、「知らない」が44.6%。
- ・【在宅 問 30】 地域包括支援センターを「知っている」が72.8%、「知らない」が15.1%。
- ・【未利用者 問 23】 地域包括支援センターを「知っている」が75%、「知らない」が17.4%。



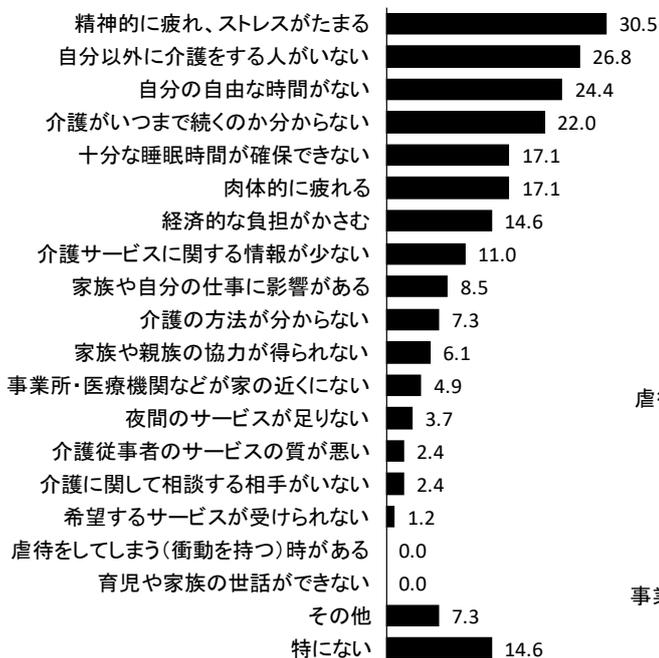
<介護する上で困っていること>

- ・【若年 問28】「介護している両親や親戚がいる」人は22%おり、介護する上で困っていること（複数回答）は「精神的に疲れ、ストレスがたまる」41%、「介護がいつまで続くのか分からない」29.8%、「肉体的に疲れる」25%。
- ・【未利用者 問36（介護者回答）】介護する上で困っていることは（複数回答）「精神的に疲れ、ストレスがたまる」30.5%、「自分以外に介護をする人がいない」26.8%、「自分の自由な時間がない」24.4%、「介護がいつまで続くのか分からない」22%。
- ・【医療と介護 問36（介護者回答）】介護する上で困っていること（複数回答）は「精神的に疲れ、ストレスがたまる」53.4%、「肉体的に疲れる」38.5%、「自分の自由な時間がない」37.2%、「自分以外に介護をする人がいない」36.5%、「介護がいつまで続くのか分からない」35.8%、「十分な睡眠時間が確保できない」35.1%。

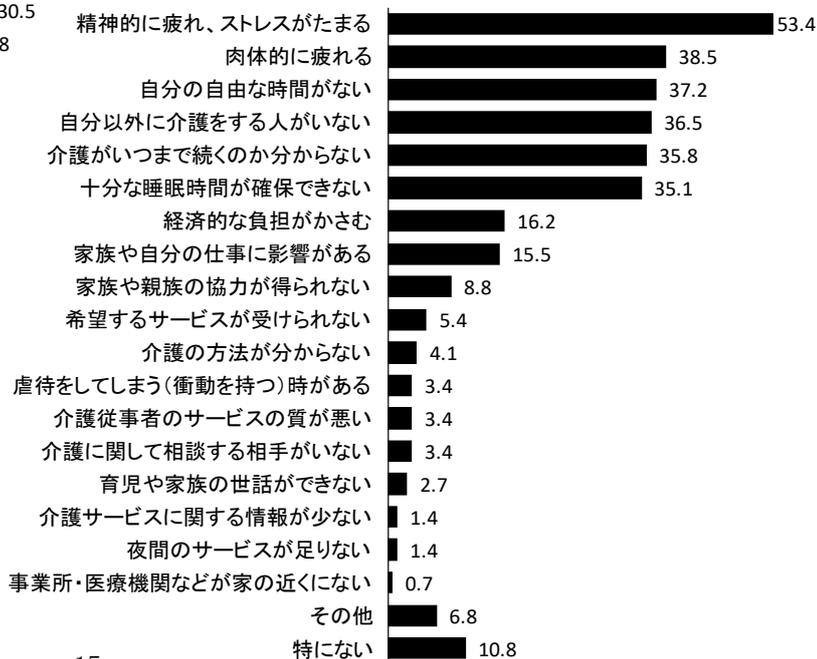
介護する上で困っていること 【若年】(%)



介護する上で困っていること 【未利用者】(%)



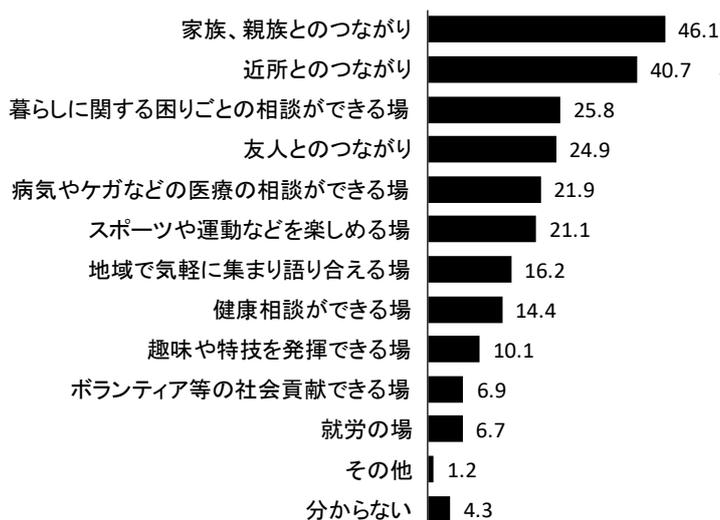
介護する上で困っていること 【医療と介護】(%)



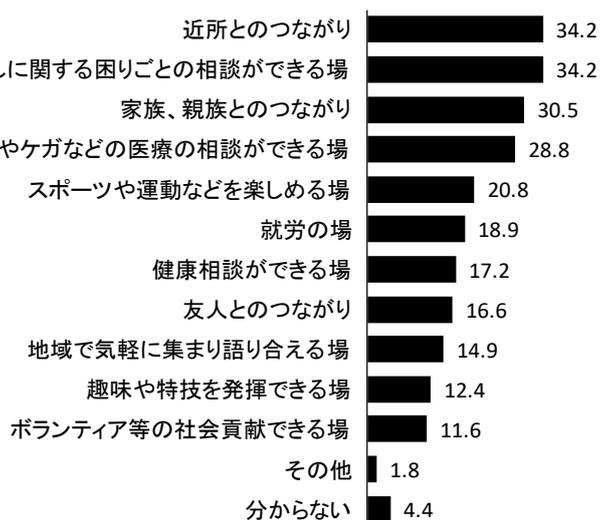
<地域での暮らしに必要なこと>

- ・【高齢者一般 問 37 (複数回答)】地域での暮らしに必要なことは「家族、親族とのつながり」46.1%、「近所とのつながり」40.7%、「暮らしに関する困りごとの相談ができる場」25.8%、「友人とのつながり」24.9%。
- ・【若年 問 33 (複数回答)】地域での暮らしに必要なことは「近所とのつながり」及び「暮らしに関する困りごとの相談ができる場」が 34.2%、「家族、親族とのつながり」30.5%、「病気やケガなどの医療の相談ができる場」28.8%。

地域での暮らしに必要なこと
【高齢者一般】(%)



地域での暮らしに必要なこと
【若年】(%)



[2] サービス提供者側からの意見として以下の調査から要約（【】内は調査名の略称）

- ・06 介護保険サービス事業者調査 【事業者】 (有効回収数 146)
- ・07 介護支援専門員調査 【ケアマネ】 (有効回収数 89)
- ・10 医療機関調査 【医療機関】 (有効回収数 170)

事業の運営について

<事業運営上の課題、困難>

- ・【事業者 問4（複数回答）】事業運営上の課題や困難は「従事者の確保が難しい」が70.5%、「事務作業が多い」65.8%、「利用者の確保が難しい」29.5%。

事業運営上の課題、困難

【事業者】(%)

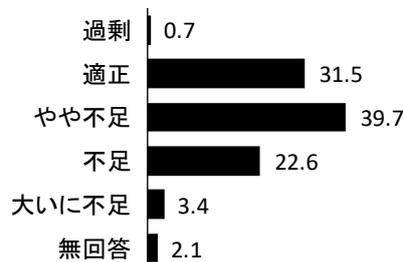


<職員の充足状況>

- ・【事業者 問5】職員の充足状況は「やや不足」が39.7%、「適正」31.5%、「不足」22.6%。

職員の充足状況

【事業者】(%)



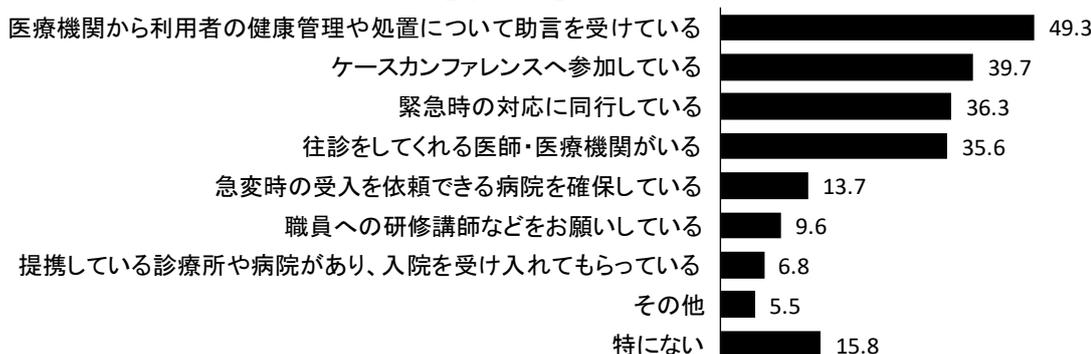
医療と介護の連携について

<医療機関との連携で取り組んでいること>

- ・【事業者 問 11 (複数回答)】医療機関との連携で取り組んでいることは「医療機関から利用者の健康管理や処置について助言を受けている」が49.3%、「ケースカンファレンスへ参加している」39.7%、「緊急時の対応に同行している」36.3%、「往診をしてくれる医師・医療機関がいる」35.6%。

医療機関との連携で取り組んでいること

【事業者】(%)

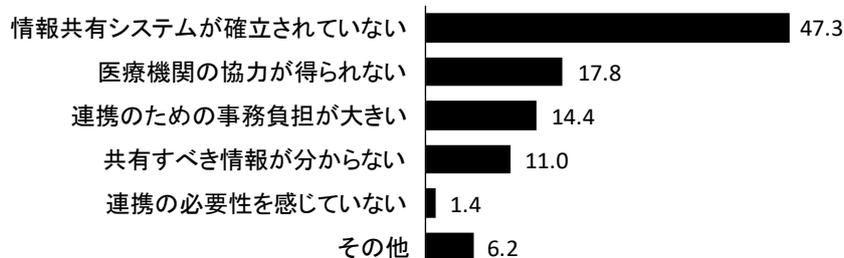


<医療機関との連携における課題>

- ・【事業者 問 12 (複数回答)】医療機関との連携における課題は「情報共有システムが確立されていない」が47.3%、「医療機関の協力が得られない」17.8%、「連携のための事務負担が大きい」14.4%、「共有すべき情報が分からない」11%。

医療機関との連携における課題

【事業者】(%)

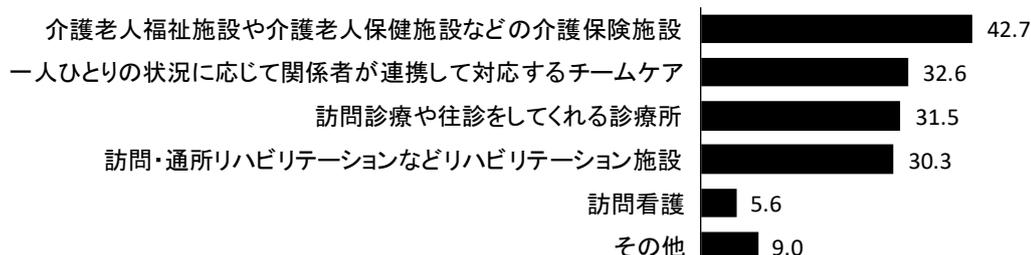


<在宅療養で不足している機能>

- ・【ケアマネ 問 19 (複数回答)】在宅療養で不足している機能は「介護老人福祉施設や介護老人保健施設などの介護保険施設」が42.7%、「一人ひとりの状況に応じて関係者が連携して対応するチームケア」32.6%、「訪問診療や往診をしてくれる診療所」31.5%、「訪問・通所リハビリテーションなどリハビリテーション施設」30.3%。

在宅療養で不足している機能

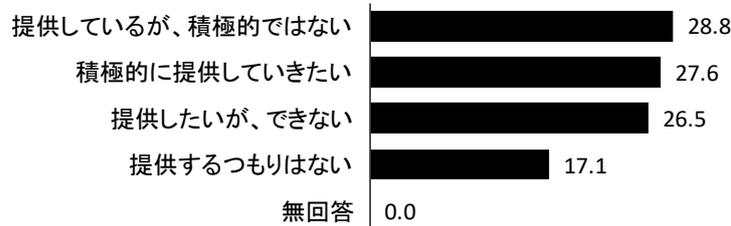
【ケアマネ】(%)



<在宅医療の実施意向>

- ・【医療機関 問3】在宅医療の実施意向は「提供しているが、積極的ではない」が28.8%、「積極的に提供していきたい」27.6%、「提供したいが、できない」26.5%、「提供するつもりはない」17.1%。

在宅医療の実施意向
【医療機関】(%)



<在宅医療を実施する上での課題>

- ・【医療機関 問4 (複数回答)】在宅医療を実施する上での課題は「訪問するための時間が確保できない」が62.9%、「スタッフが不足している」56.5%、「患者からのニーズが少ない」31.2%、「体力的に無理がある」27.1%。

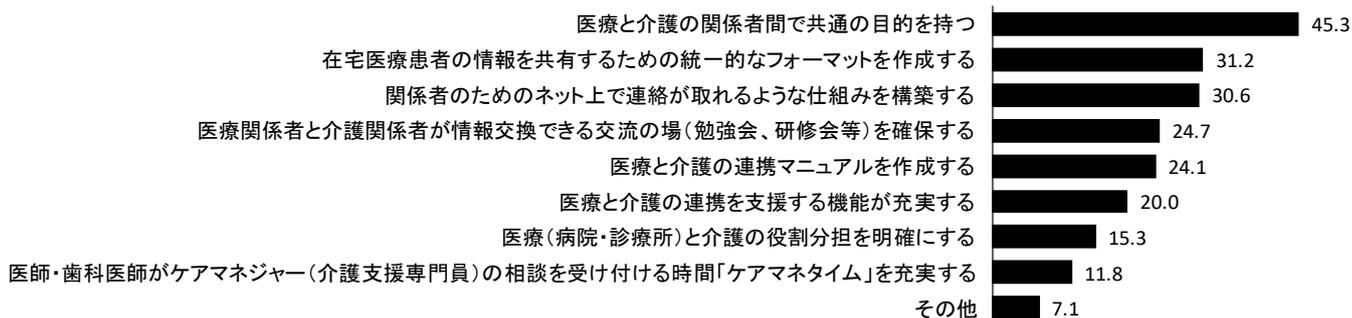
在宅医療を実施する上での課題
【医療機関】(%)



<医療職と介護職の連携のために充実すべきこと>

- ・【医療機関 問16 (複数回答)】医療職と介護職の連携のために充実すべきことは「医療と介護の関係者間で共通の目的を持つ」が45.3%、「在宅医療患者の情報を共有するための統一フォーマットを作成する」31.2%、「関係者のためのネット上で連絡が取れるような仕組みを構築する」30.6%、「医療関係者と介護関係者が情報交換できる交流の場(勉強会、研修会等)を確保する」24.7%、「医療と介護の連携マニュアルを作成する」24.1%、「医療と介護の連携を支援する機能が充実する」20.0%、「医療(病院・診療所)と介護の役割分担を明確にする」15.3%、「医師・歯科医師がケアマネジャー(介護支援専門員)の相談を受け付ける時間「ケアマネタイム」を充実する」11.8%。

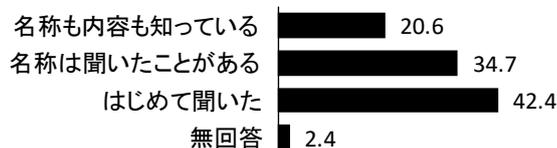
医療職と介護職の連携のために充実すべきこと
【医療機関】(%)



<在宅療養連携支援センターの認知度>

- ・【医療機関 問17】在宅療養連携支援センターを知っているかは「はじめて聞いた」が42.4%、「名称は聞いたことがある」34.7%、「名称も内容も知っている」20.6%。

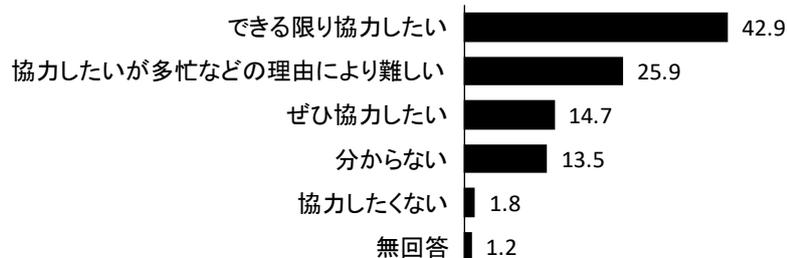
在宅療養連携支援センターの認知度
【医療機関】(%)



<医療と介護の連携についての意向>

- ・【医療機関 問18】医療と介護の連携についての意向は「できる限り協力したい」が42.9%、「協力したいが多忙などの理由により難しい」25.9%、「ぜひ協力したい」14.7%。

医療と介護の連携についての意向
【医療機関】(%)



サービスの質の向上に向けた取組について

<今後のサービス提供の見通し>

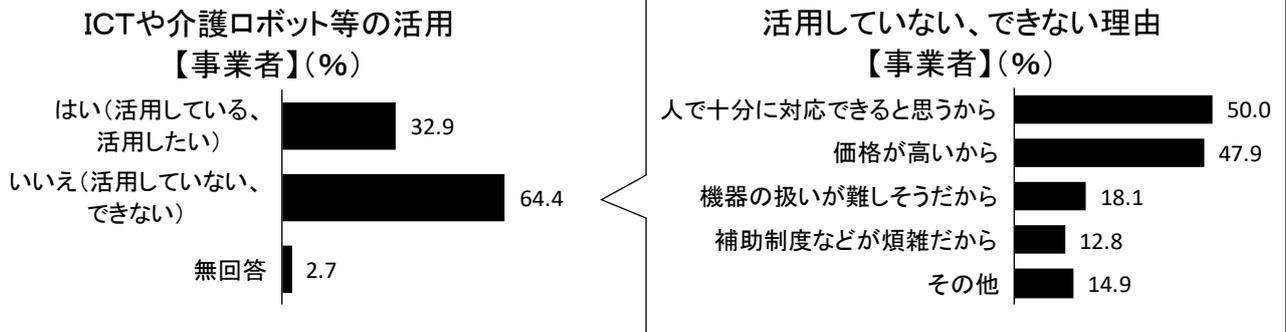
- ・【事業者 問17】今後のサービス提供の見通しは「現状維持」が62.3%、「事業規模の拡大」29.5%、「事業規模の縮小」3.4%。

今後のサービス提供の見通し
【事業者】(%)



<ICTや介護ロボット等の活用>

- ・【事業者 問 18】 I C Tや介護ロボット等の活用は「はい (活用している、活用したい)」が 32.9%、「いいえ (活用していない、できない)」が 64.4%。活用していない、できない理由 (複数回答) としては「人で十分に対応できると思うから」50%、「価格が高いから」47.9%。



<外国人の人材受入>

- ・【事業者 問 19】 外国人の人材を受け入れているかは「はい (受け入れている、受け入れたい)」が 34.9%、「いいえ (受け入れていない、受け入れられない)」が 63%。受け入れていない、受け入れられない理由 (複数回答) としては「日本語のコミュニケーション能力に不安があるから」66.3%、「緊急時の判断や対応に不安があるから」42.4%、「外国人への指導のため他の職員の負担が増えるから」37%。

